

## 2006 年度 小委員会活動成果報告

(2007 年 2月 25日作成)

小委員会名	空間構造における計算機応用小委員会		主 査 名：元結 正次郎 就任年月：2004 年 4月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (シェル・空間構造運営委員会)		委員長名：和田 章 主 査 名：大森 博司
設 置 期 間	2004 年 4月 ~ 2008 年 3月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (簡条書き)	シェル・空間構造の設計・施工における計算機利用の実態を調査し整理することによって、関連分野の大学院生、技術者、研究者に最新情報として提供する。 ・初年度： 調査研究項目の整理と調査方法の検討 ・2年度： 委員による各関連研究の推進と情報交換 ・3年度： 項目別の整理と課題の抽出 ・4年度： 成果報告書のまとめ		
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無： 無		
	元結 正次郎(東京工業大学)、武藤 厚(名城大学)、萩原伸幸(大同大学)、大森博司(名古屋大学)、河端昌也(横浜国立大学)、西村 督(金沢工業大学)、福田 隆介(鹿島技術研究所)、本間俊雄(鹿児島大学)、松井徹哉(名城大学)、水谷太朗(大成建設)、向山洋一(バコ・ソリューション)、村田 賢(名城大学)、吉野達矢(太陽工業)		
設置 WG (WG 名：目的)	「空間構造の構造解析と評価に関する調査・検討 WG」 「シェル・空間構造の形態創生 WG」		
2006 年度予算	80,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価	
委員会開催数	2 回(年度内計画を含む)	
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)		
講習会		
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	1. コロキウム 構造形態の解析と創生 2006 (資料名)同上	参加者数 93 名
大会研究集会		
対外的意見表明・パブリックコメント等		
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 形態創生 WG によるコロキウムを2日間にわたり名古屋にて開催。 2. 解析と評価 WG によるワークショップを2回開催。 以上により、シェル・空間構造の設計・施工における計算機利用に関する最先端情報を意見交換することが出来、目的を達成することができた。	
委員会活動の問題点・課題	1. 2つのWGが目的を達成して終了となるが、成果のまとめを検討する必要。 2. 情報の整理と具体的事例の検討、それらの情報発信手段の検討の必要。 3. 関連する他の委員会等との連携のあり方を検討する必要。	